

いっぽいっぽ

令和7年度 通級指導教室おたより
7・8月号



東小通級指導教室（あおぞら教室）

☎ 992-0049（東小代表）

993-4463（東小通級教室）

あおぞら① つちや ひろし
土屋 大
あおぞら② ほんま やえ
本間 弥重

新学年が始まって3か月ほど経ちました。新しい環境に少しずつ慣れてきた頃でしょうか。天候不順や気温の変化が大きい6月・7月は疲れやストレスを感じやすい時期ですね。そんな中でも、目的意識をもってあおぞら教室での学習に一生懸命取り組む子どもたちです。時には、「できない」「無理」など弱音を吐きたくなることもあります。そんな時には、どの方法・どのくらいの量ならできそうかを一緒に考えて取り組んでいます。一人ひとりの【このやり方ならできる！】を見つけられるようサポートしていきたいと思います。

7月に保護者面談を実施します。通級での学習の様子や目標、ご家庭での様子などについて、保護者の方と共通理解を図り、2学期以降の支援に生かしていきたいと思います。よろしくお願いします。

7・8月の行事予定

月	火	水	木	金
7/7	8	9	10	11
1学期通級最終週				保護者面談① 特別日課5時間
14	15	16	17	18
保護者面談② 特別日課5時間	保護者面談③ 特別日課4時間	保護者面談④ 特別日課4時間	保護者面談⑤ 特別日課4時間	1学期終業式
7/19 ~ 8/25 楽しい夏休み 				
8/25	26	27	28	29
	2学期始業式			
9/1	2	3	4	5
2学期通級開始 委員会活動				

<お知らせとお願い>

- 保護者面談は、担任の先生と同じ日に実施します。担任の先生との面談の前後の時間、または、担任の先生と一緒に実施します。面談場所や時間は、以前配布した面談のお知らせをごらんください。ご不明な点がございましたら、スクリレや通級ファイルでお知らせください。
- 通級の日を忘れてしまったり、通級ファイルをおうちの方に出し忘れてしまったりすることがあります。通級の日にはファイルの表表紙に示してあります。通級がある日は、おうちでも「今日は通級だね！」などと声をかけていただけるとありがたいです。また、通級での学習の様子をおうちでも話題にいただけると子どもたちの励みになります。よろしくお願いします。

「書く」のは苦手 でも伝えたい！！ どうしたらいい？

話すことは好きだけど、「書く」となると、文章がうまく書けない…、漢字を思い出せない…、字がきれいに書けない…、面倒くさい……。いろいろな理由があると思いますが、「書く」ことへの苦手意識をもつ人は結構います。大人だって、「自筆で書いて提出してください！」と言われたら、「えっ？！書かなきゃだめですか？」と思う人は多いはずですよ。

自分の得意な方法を選んで表現できる機会が増えてきています。今回は、「書く」ことが苦手でも、自分の思いを伝えたり、表現したり、メモしたりするための工夫を紹介していきます。

漢字練習・視写



本人の意思に反して「何回も」「長時間」書くことを強要すると、書くことそのものが嫌いになってしまう可能性があります。どのくらいの時間・量ならば、集中して書けるのかなど、本人の希望や目標を確認しながら、書く量や方法を相談していくとよいでしょう。ますの大きさを変えてみることも一つの方法です。教科書の文章を写す（視写）時には、デジタイザーを使うと文字の大きさを拡大できたり、ふりがなをつけたりできるので便利です。教科書に比べて、行間も広いので見やすいです。書いた文字のとめ、はね、はらいなど、あまり細かいところまで指摘しすぎるよりも、字形が正しければ OK！とすることも、場合によっては必要です。どこまでを許容するかは、担任の先生と相談しましょう。漢字は将来的には、読むことができて意味が分かることも大切です。



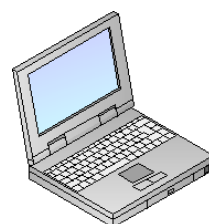
ノート

黒板に書かれたこと、先生や友達が話した内容を、毎回全部書く必要はありません。先生が色を変えたところだけ書く、自分の考えは書く、課題とまとめは書く、など書く内容を精選するとよいですね。資料や教科書のどこを見ればいいのか、ページだけはメモしておくという方法もあります。本人・担任との相談が大切です。授業時間内に書くことが難しい、情報量が多くて何をノートに書いてよいのか分からない、といった場合には、黒板の写真を撮ることも有効です。

作文

クロムブックのドキュメントで下書きする方法がおすすめです。ドキュメントでは、ローマ字入力でのタイピングだけでなく、音声入力もできます。（声に出した言葉が文字になる）とりあえず、書きたいことをメモしておき、後からつなげたり、順番を変えたりすることができます。

分からない漢字がある時には、グーグルの検索画面やドキュメントに入力して調べることができます。小さい字が見えにくい場合は、文字を拡大することもできるので便利です。



テスト

テストの字が小さくて見えにくい、小さいますや枠の中に文字を収めることが難しいといった場合には、問題用紙・解答用紙の拡大を申請することができます。テストの問題へのルビ振り、問題文の読み上げ、時間延長などの支援も同様です。お子様にどのような支援や配慮が必要なのか、担任の先生とよく相談してください。これらの支援が必要を小学校や中学校で積み重ねておくことで、受験の時に同様の配慮を受けることが可能になることもあります（医師の診断や意見書が必要となる場合があります）

不明な点は、通級担当、または担任までお知らせください。